

日本バレーボール学会第24回学会大会開催報告

日本バレーボール学会第24回学会大会を山梨学院大学において開催した。以下に開催報告を記す。

- 開催日 2019年3月2日(土)・3日(日)
- 会場 山梨学院大学(甲府市酒折2-4-5)
スポーツ科学部棟、16号館講義室
- テーマ これからの課外活動におけるコーチングを考える
- 主催 日本バレーボール学会
- 共催 山梨学院大学
- 後援 山梨県教育委員会、公益財団法人山梨県体育協会、公益財団法人日本バレーボール協会、山梨県バレーボール協会
- 大会長 河合学(日本バレーボール学会会長・静岡大学)
- 大会組織委員長 遠藤俊郎(山梨学院大学スポーツ科学部)
- 参加者 約100名: バレーボール領域の研究者、競技現場の指導者、バレーボールに興味を持っている方々



【開会の挨拶】

開会の挨拶は、山梨学院大学学長である古屋光司氏、日本バレーボール学会会長である河合学氏、そして第24回大会組織委員長である遠藤俊郎氏にご挨拶をいただきました。



【特別講演】

特別講演は、株式会社山梨中央銀行代表取締役会長である進藤中氏に、『地域経済活性化とスポーツ振興～山梨中央銀行の取り組み～』というテーマについて女子バレーボール部の誕生を踏まえながらご講演いただきました。行員が積極的に女子バレーボール部の活動をバックアップし、社内に一体感が醸成されました。企業の地域貢献としてスポーツの価値を認め、山梨県内の複数のスポーツ種目の支援を行っています。



【シンポジウム】

平成30年3月にスポーツ庁が科学的根拠に基づいた運動部活動に関するガイドラインを示しました。運動部活動の運営や指導に関する問題は以前から取り上げられています。本シンポジウムでは『中学・高校におけるコーチングを考える』という古くて新しいテーマに挑み、将来のバレーボールコーチングのあるべき姿について議論を深めたいと考えました。

司会：安田貢（山梨学院大学）

演者：山田芳樹（山梨県教育庁スポーツ健康課 課長補佐）

笠野英弘（山梨学院大学 准教授）

アーマツ・マサジェディー（VC 長野トライデント コーチ）

増村雅尚（崇城大学 准教授）



【一般研究発表】

一般研究発表では16演題のポスター発表があり、活発な質疑応答や意見交換が行われていました。



【オンコートレクチャー】

体育館においてオンコートレクチャーが行われました。今回のオンコートレクチャーは『現場に活かせるスポーツバイオメカニクス』をテーマに増村雅尚氏に講師を行っていただきました。

今回は高価な測定機器ではなく、身近なタブレット端末などを活用して、即時的フィードバックがどのように対象者に活用できるのか、セッターのトス、ディグ、およびブロックについてモデルチームで実演してもらいました。

文責：安田 貢



学会大会に参加された皆様